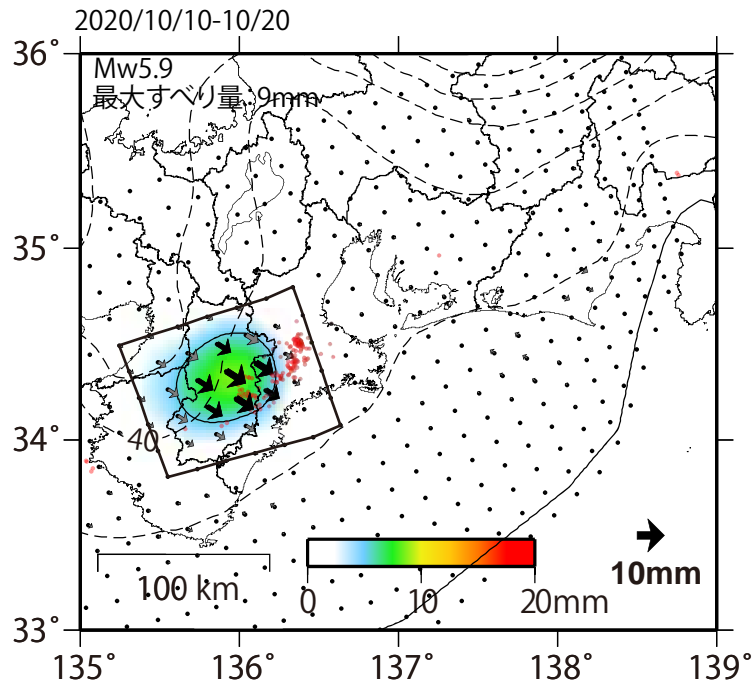


GNSSデータから推定された
紀伊半島北部の深部低周波微動と同期したスロースリップ(暫定)

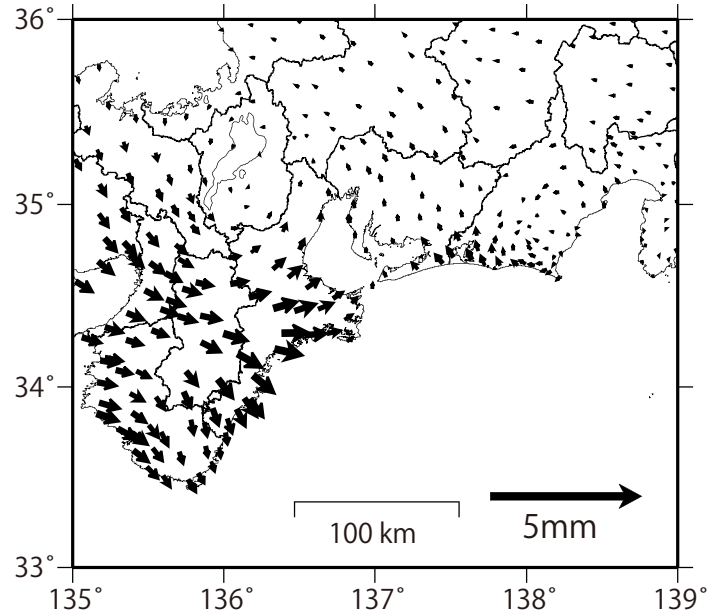
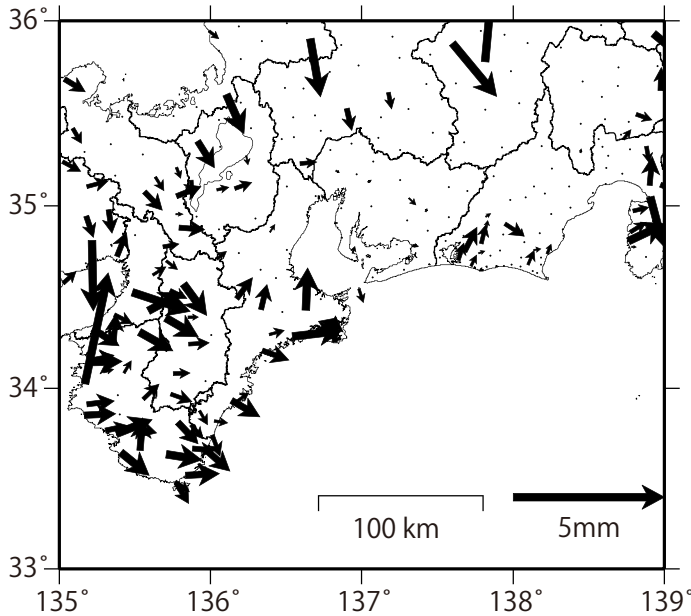


推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色表示している。

観測

計算

基準期間: 2020/09/1~2020/10/10 [F3: 最終解]
比較期間: 2020/10/14~2020/10/20 [R3: 速報解]



解析に使用した全観測点の座標時系列から、共通に含まれる時間変化成分は取り除いている。
また、基準期間と比較期間の間のオフセットをRamp関数で推定し、AICで有意でない成分及び西向き成分は除外している。

解析に使用した観測点の範囲: 概ね北緯33.4~36°、東経135~139°
使用データ: F3解(2020/9/1 - 2020/10/17)+R3解(2020/10/18 - 2020/11/1)
トレンド期間: 2017/1/1 - 2018/1/1 (年周・半年周成分は 2017/1/1 - 2020/10/31 のデータで補正)
モーメント計算範囲: 上段の図の黒枠内側
黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線(弘瀬・他、2007)
すべり方向: プレーートの沈み込む方向と平行な方向に拘束
赤丸: 低周波地震(気象庁一元化震源)
コンター間隔: 5mm
固定局: 三隅